

令和2年度 学校関係者評価委員会 評価表

評価基準 **4** : 重点目標が十分達成できている **3** : 重点目標がおおむね達成できている
2 : 重点目標があまり達成できていない **1** : 重点目標がほとんど達成できていない

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
1 学校生活・生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校での生活を楽しく過ごす。 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よく過ごす。 場に応じて、聞こえる挨拶をする。 遅刻をしないなど時間を守って生活してする。 自転車で登校するときにはヘルメットをかぶる。 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのる。 予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができる。 提出物を忘れずに出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活全般については「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を大きく超えており、概ね満足している。 「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。」の調査は83.9%と高い。 「学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。」は全質問項目の中でも高い数値になった。 生徒相互の人間関係が良好に進んでいることで、困りごとや悩みが減少していることが考えられる。 登下校の生徒の評価が良くでている。 「自転車で登校するときにはヘルメットをかぶっている。」は「よくあてはまる」が97.5%に上昇した。 予鈴着席82.6%、提出物は79.7%となっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 巡視や面談・声かけ等を増やし生徒の日々の変化を素早く察知する。 表現できる力がアップしてきており、書く力もついてきた。 「学校での生活は楽しい」、「学校や学級で、いじめもなく仲よくすごしている」は、限りなく100%に近づけたい。 生徒会の挨拶運動の活動や教職員の登下校指導を毎日行い、聞こえる声で挨拶ができるまで呼びかける。 着席後に取り組める、学習課題を準備し、直ちに始める習慣とルーティーンをつくる。 <p>○今後の課題と重点目標 I. 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。</p>	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の様子を見てもヘルメットの着用率がいいと感じた。数年前学校見学に行ったとき、授業中に徘徊している生徒を見かけたが現在はいいようです。 不登校になっている生徒もいるのでしょうか。もしいるとしたらその対処方法もお聞きしたかった。 8割以上の生徒が学校生活を楽しんで、いじめもなく友達と仲良く過ごしているとの答えは素晴らしい。また、学校側の「学校での生活は楽しい」「いじめもなく仲良く過ごしている」を限りなく100%に近づけたいという思いをうれしく思う。 いじめもなく生徒相互の人間関係も良好で問題が発覚したときの先生方の素早い対応が信頼となり学校生活が充実したものと思える。学校外での生徒の高津にもその効果が現れている。 難しい年頃の生徒が心の内を口に出せるか。発信できない気持ちにどう気づくか課題である。 タブレットの使い方や学校に行きにくい子にリモートで勉強ができたたり先生と話ができるといい。 生徒の否定的な意見が11.5%あり、教師の回答が0%。生徒数からして各クラス3～4人が「楽しくない」となるので決して少ない数ではない。教員側と生徒の意見のずれについて対策が必要だ。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力をつける。 授業の内容を理解しする。 毎日、家庭学習をする。 朝読書以外にも読書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「子供は、自分の考えや意見を伝える力が身につけている。」が「よくあてはまる」の回答が少ない。 生徒及び保護者の回答が「よくあてはまる」と「ややあてはまる」合わせた肯定的な回答の率が低い。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 鳴潮視写を継続し、表現力の向上と全教科共通の学びのスタイルを確立する。 学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に取り組む。 <p>◎今後の課題、重点目標Ⅱ、自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている。</p>	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 情報の飛び交う中での読書は本当に難しい。短時間でも維持させることは素晴らしい。読書の楽しさを会得した子は自分の考えや意見を言えるようになる。 読書の習慣があまりできていないようで残念。読書をたくさんすることで学習面でもプラスになる。 考えや意見は持っているが自分から伝たり、表現しようとする力が見られない。 教職員の回答が前年、前々年より数値が上がっている。生徒の力が伸びるのはこれからだと思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や希望の実現に向けて考えている。 自分の良いところを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている。」が「よくあてはまる」の回答が少ない。 「自分には良いところがある」の肯定的な意見は生徒 71.7 %に対し、保護者 98.5 %と差があり、自己肯定感のさらなる向上が求められる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 「とことん続ける目標」の徹底で自己肯定感を磨き、それによって学習意欲を増加させるよう取り組む。 <p>◎今後の課題、重点目標Ⅲ、自分には良いところがある。</p>	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢、自分がやりたいことを探す年代ですが、多くの職種があることを教えてほしい。親の仕事を継ぐというのも一つの方法ですが自分で決めることができるように。 板野中学校の生徒は自己肯定感が低い人が多いと感じています。「とことん続ける目標」の取り組みで自信をつけることができると期待しています。 保護者の現実的な意見も踏まえ、生徒の夢や希望を大切に指導していただきたい。 自分の良いところに気づかないのは年齢的なものもある。大人が良いところや可能性を伝えることで安心する。
4	<ul style="list-style-type: none"> 社会のルールを守って生活する。 自分が大切な存在であることを知る。 「とことん続ける目標」で、自信につなげる。 道徳の時間に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「道徳の時間に積極的に取り組んでいる。」は「よくあてはまる」が 31.2 %から 38.5 %に上昇している。 『とことん続ける目標』で、自信につながっている。」の肯定的な意見が、生徒 76.2 %、保護者 66.2 %、になり、飛躍的改善がある。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に『とことん続ける目標』の取り組みの浸透させ、家庭教育と学校教育が一体となって取り組む。 <p>◎今後の課題、最重点目標Ⅳ、「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。</p>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 10 %以上の上昇なので「4」良いと思う。 道徳教育はモラル・ルールは何のためにあるか。基本のところまで突き詰めて考えてもらいたい。 保護者が「学んでいる内容」を知らないと回答している数値が気になる。 「特別の教科道徳」を検索したが難しい。授業内容を保護者に知らせる取り組みは大変と思うが、授業内容や「とことん続ける目標」など保護者も考え、子どもと議論してほしい。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価		
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見	
5	特別活動 総合学習 部活	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組む。 部活動ガイドラインを守り、活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組む意欲はあったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策で中止・縮小になった活動が多数あり、肯定的な意見が伸びていない。 部活動ガイドラインは守れているが活動できない期間が長期間あり、肯定的な意見が伸びていない。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 講演会や学校行事を生徒会が運営することを増やし、生徒会の活動が見える化を図る。 部活動の入部率や継続率を高めていきたい。 	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の環境の中で「よくあてはまる」が半数を超えているのは評価しても良い。 制約のある中でいろいろな取り組みをしていた。中学校時代の部活は貴重な体験です。今しかできないことをやってほしい。 部活動がもう少し積極的に取り組めたらいい。生徒が興味を持っている部活の種類を増やすことはできないか？ 部活は試合等が少なく変化のない時期が続いたため意欲的に取り組めていないようだ。そのときの対策が必要。 コロナのためできる範囲で活動できている。
6	安全教育 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知る。 学校の施設・設備を安全にする。 時間いっぱい清掃に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練では生徒や教職員に日時の予告なしに行い、訓練に真剣さが出てきた。 校舎の外壁改修、体育館と武道館のエアコン設置、校舎内のLAN工事が進み、設備の充実が図られている。 無言清掃に取り組むことで、清掃時間が午前中を振り返る時間になり、単なる清掃時間でなくなり、より充実した時間になったきた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の形態や実施時期を、事前連絡なしに行い、より真剣さ高め、実際の発生したときを想定し、改善点をリアルタイムで話し合う。 無言清掃を徹底し、清掃を充実させるだけでなく、午前中の行動・取り組みを振り返る時間とし、午後の活動を充実させる。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 学校をとりまく環境もすごく良くなってきていると感じる。2～3年前に自販機も設置されたとのこと、水分補給も大切である。 ほとんどの生徒が真面目に清掃に取り組み、学校が美しく整えられているということは素晴らしい。 自然災害は今全国各地で不安視されていて、いつ起こるかわからない状況ですが、あらゆることを想定し準備することが必要だ。 雨の日に廊下が滑る。 無言清掃は生徒が生徒が従順に守っていることが不思議に思う。学校がきれいであること、集中して清掃すること、考える時間があることは良い。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
7 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応する。 いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的な意見は80%以上と高い結果が出ているが、「よくあてはまる」のポイントが少なく、「ややあてはまる」のポイントを加えると高くなる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対応を素早く、スピード感をもって対処する。 <p>◎今後の課題, 最重点目標 V, 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。</p> <p>○今後の課題, 重点目標 VI, いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。</p>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 大なり小なりのいじめはあり、いじめをしている方も「いじめ」と思っていない場合もある。被害者の異変を察知して素早い対応をしてほしい。 先生を信頼しているように思う。いじめや差別のない学級を作ろうという学校の本気度を生徒は正しく感じているかと思う。 素早く、的確な対応をする必要がある。 どの項目も他の項目と関連させて目標が達成できるように考えられている。生徒の心のあり方は大人の姿勢から学んでいることが多い。 設問24で生徒の否定的な意見が19.6%あるので全校生のうち約56人いると考えられる。教員の数値とずれがある。学校の対応が生徒や保護者にうまく伝わっていないということか？生徒の自己肯定感を育むためにこの差を埋める必要がある。
8 学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や講演会を、楽しく、充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の肯定的な意見が9割に達しており、保護者の意見もそれに近い。 新型コロナウイルス感染症対策で学校行事が中止や延期、縮小されたこともあり、生徒、教職員の肯定的な意見が下がっている。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事で生徒の夢や、考え、意見を保護者に見てもらったり、聞いてもらったりする活動を充実させる。 講演会等は保護者も参加・研修できるように計画する。 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> できる範囲で活動できている。 修学旅行が沖縄に行けなかったとしても県内で楽しい思い出になる。何十年か先にこの時代のことで学年の結束が持続している。 感染症対策のため不自由があるのは仕方ないこと。少しでも良い思い出を残してあげたい。 講演会はA I テレビでいつも視聴している。とても参考になります。

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
9 学校公開 情報公開 地域家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解する。 地域の行事に参加する。 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開する。 学校からの便りを保護者にわたす。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信は好評価となっている。 学校からの保護者への情報は適切に伝わっていることが考えられる。 保護者が学校を訪問するPTA活動や学校行事、学校公開、講演会などが新型コロナウイルス感染症対策で、中止や延期、縮小したことで、保護者の学校訪問は減っている。 振り返りシートの保護者の方の記入について協力を依頼し、家庭と学校が一体となって取り組んだ。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見や情報を、教職員に日常的に伝え、情報交換を高める。 学校からの情報発信力（学年や学級の通信、メール配信を増やし、コロナ禍で学校訪問が減っていることを補い、さらに連携を深める。 学校と家庭が歩調を合わせ生徒の自己肯定感の育成を一体となっていく。 生徒の夢や、考え、意見を保護者に見てもらったり、聞いてもらったりする情報発信を強化する。 『とことん続ける目標』を保護者に知ってもらう。 	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 好評価の結果から先生方が細やかに対応していると感じる。保護者のも先生方の思いが伝わり関心が深まっている。 PTA現役のとき、すべての学校行事に参加し、役員もして子どもとともに成長させてもらった。仕事の都合で参加できない方もいるが、働き方改革で学校からの案内があれば参加できると思う。 相対的に以前では考えられないくらい良くなっている。 地域の行事の参加が小学校の頃からみて少なくなっている。もっと中学生が参加できる地域の行事を考えてみたい。 感染症対策のため地域行事への参加や学校行事が中止となり連携がとりにくいが、学校からの情報発信はこういうときこそ重要である。